

## 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス整備事業 その2

### プロポーザル評価基準

#### 1. 評価方法及び基準

##### (1) 選定委員会の設置

公募型プロポーザル方式を実施するにあたり、専門的見地からの意見を聴くために、公立大学法人大阪公募型プロポーザル方式に係る実施基準に則り、受託者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。選定委員会は、各評価項目について審査及び採点を行う。

##### (2) 評価方式

本件は、参加者の「技術評価点」と「見積価格」を、下記(3)により算出した数値（以下、「総合評価点」という）により優先交渉権者を決定する公募型プロポーザル方式を採用する。ただし、以下の条件に該当する者を優先交渉権者とすることはできない。

- ・技術提案書の内容が、書類不備等により選定委員会で審査を行うことが難しいと判断された者
- ・別紙「公募型プロポーザル募集要項」その他本件関係資料に定める失格要件に該当する者
- ・見積書が無効と判断された者

##### (3) 総合評価点の算出方法

1) 総合評価点は、加算方式にて算出する。なお、計算式は次のとおりとする。

|          |   |                             |   |           |
|----------|---|-----------------------------|---|-----------|
| 総合評価点    | = | 技術評価点[※1]                   | + | 価格評価点[※2] |
| ※1 技術評価点 | = | 実績調書による加算点 + 技術提案による加算点     |   |           |
| ※2 価格評価点 | = | 見積提案率※3 に応じて算出される評価点（表4による） |   |           |
| ※3 見積提案率 | = | 見積提案価格／想定上限額×100            |   |           |

2) 本プロポーザルの評価は、選定委員会が行う。

3) 技術提案等に基づき、各評価事項について、審議方式により客観的に評価する。

4) 評価は、選定委員会が提案書に基づき評価を行い、最優秀提案者1者、次点提案者1者を選定し、最優秀提案者を優先交渉権者として決定する。

5) 提出された提案書は、提案者名を伏し、提案者番号(受付番号)を付し、各委員に配布する。

##### (4) 審査について

本件では、以下のとおり審査を行う。

1) 実施スケジュールは表1に記載の通りとする。

2) 参加資格審査により適格と確認された参加者の技術提案内容を、表2に示す[実績調書における評価基準項目・加算点]及び表3に示す[技術提案書における評価基準項目・加算点]に準じて、選定委員会にて審査する。なお、プレゼンテーション・ヒアリングを行う。

3) プレゼンテーション・ヒアリングへは参加者からは設計を担当する管理技術者または意匠主任技術者、施工を担当する現場代理人または総合代理人または監理技術者を含む5名まで参加することができる。

4) プレゼンテーション・ヒアリングについてのその他の詳細は別途通知する。

5) 「実績調書における加算点」の算出は、参加申請において提出した実績調書を基に評価項目毎に表2により加算点を算出し選定委員会にて委員の承認を受ける。

6) 「技術提案書による加算点」の算出は、評価項目毎に表3により算出された各委員の点数の

平均値（少数点第3位以下を切り捨て）とする。

- 7) 上記4) 及び5) において承認及び審査された評価に基づき加算点を算出の後、1. (3) の計算式によって総合評価点を算出する。
- 8) 優先交渉権者は第2期整備事業（大学）、第2期整備事業（高専）、第3期整備事業（大学）のそれぞれの見積価格が別紙「公募型プロポーザル募集要項」に記載のある想定上限額の内訳金額以下である者のうち、総合評価点の最も高い者とする。総合評価点が高点の場合にはくじにて優先交渉権者を決定する。ただし、優先交渉権者となるべき者と契約することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適当であると認められるときは、その者を優先交渉権者とせず、次順位者を優先交渉権者とする。

表1 実施スケジュール

| 区 分             | 項目                     | 日程・期限                         |
|-----------------|------------------------|-------------------------------|
| 事前情報公開          | 事前情報公開資料の開示            | 令和6年1月25日(木)                  |
| 公告時交付資料         | 公告時交付資料のHP掲載           | 令和6年5月15日(水)                  |
|                 | 発注図書交付請求書<br>秘密保持誓約書提出 | 令和6年5月15日(水)<br>～令和6年5月29日(水) |
|                 | 発注図書の配布                | 令和6年5月15日(水)<br>～令和6年5月31日(金) |
|                 |                        |                               |
| 公告時交付資料<br>質疑回答 | 公告時交付資料に関する質疑提出期限      | 令和6年5月20日(月)                  |
|                 | 公告時交付資料に関する質疑回答        | 令和6年5月24日(金)                  |
| 参加申請            | 参加申請書提出期限              | 令和6年5月29日(水)                  |
|                 | 参加申請書審査結果通知            | 令和6年6月10日(月)                  |
| 現地確認            | 現地確認の申込み               | 令和6年6月10日(月)<br>～令和6年6月12日(水) |
|                 | 敷地内の現地確認               | 令和6年6月13日(木)<br>～令和6年7月12日(金) |
| 技術提案の審査         | 発注図書に関する質疑提出期限         | 令和6年6月18日(火)                  |
|                 | 発注図書に関する質疑回答           | 令和6年7月1日(月)                   |
|                 | 技術提案書等提出期限             | 令和6年7月16日(火)                  |
|                 | プレゼンテーション・ヒアリング        | 後日、通知する。                      |
| 優先交渉権者決定        | 優先交渉権者決定通知             | 令和6年8月中旬(予定)                  |
| 事業協定書等契約        | 契約締結日                  | 令和6年8月末(予定)                   |

- (1) 各種提出物は、別紙「公募型プロポーザル募集要項書」に記載の方法で提出を行うこと。
- (2) スケジュールについて変更が生じた場合は、既に参加表明等があった者に通知するとともに、ホームページに掲載する。

## 評価基準

表2 実績調書における評価基準項目・加算点

| 評価項目             |  | 評 価 基 準                    |  | 配点    | 加算点   |
|------------------|--|----------------------------|--|-------|-------|
| 企業実績             | 施工実績                                     | 平成21年 4 月 1 日以降の施工実績       | 大学（理系または文系）の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が20,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が10,000㎡以上の施工実績を有するもの  | 4.0   | /4.0  |
|                  |  |                            | 大学（理系）、研究施設、病院の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が10,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が5,000㎡以上の施工実績かつ、大学（理系または文系）、研究施設、病院の用途の新築、増築又は改築で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の施工実績を有するもの（参加資格要件）             | －     |       |
|                  | 設計実績                                     | 平成21年 4 月 1 日以降の実施設設計実績    | 大学（理系または文系）の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が20,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が10,000㎡以上の設計実績を有するもの  | 4.0   | /4.0  |
|                  |  |                            | 大学（理系）、研究施設、病院の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が10,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が5,000㎡以上の設計業務の実績かつ、大学（理系または文系）、研究施設、病院の用途の新築、増築又は改築で当該部分の延床面積が5,000㎡以上の設計業務の実績を有するものを有するもの（参加資格要件） | －     |       |
| 配置予定監理技術者（施工）の能力 | 施工実績<br>※複数の者を届出る場合は、加算点が最も小さいものを評価対象とする | 平成21年 4 月 1 日以降に従事した施工実績   | 大学（理系または文系）の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が5,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が3,000㎡以上の施工に監理技術者もしくは主任技術者として従事した実績を有するもの（最大3件まで）  | 2.0×3 | /6.0  |
|                  |  |                            | 大学（理系または文系）、研究施設、病院の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が5,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が3,000㎡以上の施工に従事した実績を有するもの（参加資格要件）   | －     |       |
| 配置予定管理技術者（設計）の能力 | 設計実績<br>※複数の者を届出る場合は、加算点が最も小さいものを評価対象とする | 平成21年 4 月 1 日以降に従事した実施設計実績 | 大学（理系または文系）の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が5,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が3,000㎡以上の設計に管理技術者または主任技術者として従事した実績を有するもの（最大3件まで）   | 2.0×3 | /6.0  |
|                  |  |                            | 大学（理系または文系）、研究施設、病院の用途の1棟または複数棟の建物の総延床面積が5,000㎡以上で内装改修工事（外壁改修、屋上防水改修は除く）の対象面積が3,000㎡以上の設計に従事した実績を有するもの（参加資格要件）   | －     |       |
|                  |  |                            |  |       | /20.0 |

※企業実績については大阪府建設工事一般競争入札（特定調達）参加資格者名簿または大阪府測量・建設コンサルタント等競争入札参加資格に登録された本店または支店のものに限らず、同一企業の本店または支店のものであれば他の都道府県での実績についてこれを認める。

表3 技術提案書における評価基準項目・加算点

|            | 評価項目  |                          | 提案を求める内容(提案項目)  | 評価基準               | 配点   | 加算点   |
|------------|-------|--------------------------|---|--------------------|------|-------|
| 技術提案を求める項目 | 技術提案書 | A) 業務全体の取組方針・体制に関する提案    | <p>本事業は、多年度にわたる複数棟の新築工事、増築工事、改修工事の設計及び施工を並行して実施し、工事完成後に什器備品等の移転業務も併せて実施するものである。複数の建物に対するそれぞれの関係者との合意形成、情報共有などを図りながら、効率的・効果的にプロジェクトを進めることが望まれる。</p> <p>上記を踏まえ、各棟の設計、施工、移転を着実かつ円滑に実行するための効果的な取組方針及び体制を具体的に5つまで提案すること。</p> <p>① 本業務全体の実施方針<br/>設計、施工、移転まで全体の実施体制及び意思決定者や各業務の役割分担など具体的な取組方針</p> <p>② 本事業の全体工程計画と事業期間を確実に遵守するための設計・施工・移転の工程管理手法</p> <p>③ 長期にわたる業務における具体的なコストコントロール手法</p> <p>④ 施工業務と移転業務を同時期に実施するに当たり具体的な取組方針</p> <p>⑤ 自由提案</p> | 全ての提案項目が効果的で実現性が高い | 10.0 | /10.0 |
|            |       |                          |   | 4つの提案項目が効果的で実現性が高い | 8.0  |       |
|            |       |                          |   | 3つの提案項目が効果的で実現性が高い | 6.0  |       |
|            |       |                          |   | 2つの提案項目が効果的で実現性が高い | 4.0  |       |
|            |       |                          |   | 1つの提案項目が効果的で実現性が高い | 2.0  |       |
|            |       |                          |   | 全て上記に該当しない         | 0.0  |       |
|            |       | B) 設計・工事監理の取組方針・体制に関する提案 | <p>本事業は基本計画資料、1期事業による教職員とのワークショップ内容や大学の意向を十分に理解した上で、豊富な経験と独自の技術やノウハウを活用し、設計を行う事となる。教職員との合意形成、情報共有などを図りながら、効率的・効果的に進めることが望まれる。</p> <p>上記を踏まえ、設計業務においてよりよい設計とするための、実施、実現できる効果的な取組方針及び体制を具体的に5つまで提案すること。</p> <p>① 設計段階でよりよい設計とするための取組方針と進め方</p> <p>② 設計段階での移転情報の整理を効果的に行い、適宜設計に反映させるための具体的な取り組み方針</p> <p>③ 異なる機能(大学、高専)が同一キャンパス内に共存するため、動線、インフラ、維持管理を考慮した設計方針</p> <p>④ 設計施工における実行的な工事監理の取組方針、体制、役割分担(設計、工事監理、施工)、工夫</p> <p>⑤ 自由提案</p>        | 全ての提案項目が効果的で実現性が高い | 10.0 | /10.0 |
|            |       |                          |   | 4つの提案項目が効果的で実現性が高い | 8.0  |       |
|            |       |                          |   | 3つの提案項目が効果的で実現性が高い | 6.0  |       |
|            |       |                          |   | 2つの提案項目が効果的で実現性が高い | 4.0  |       |
|            |       |                          |   | 1つの提案項目が効果的で実現性が高い | 2.0  |       |
|            |       |                          |   | 全て上記に該当しない         | 0.0  |       |
|            |       | C) 構造・設備に関する提案           | <p>近年多発する災害等への対策を背景として、構造やインフラストラクチャーの強靱化が望まれる。</p> <p>要求水準書、基本計画図書等を理解した上で、構造計画、機械設備計画、電気設備計画について実施、実現できる効果的な取組を具体的に4つまで提案すること。</p> <p>また、異なる機能(大学、高専)が同一キャンパス内に共存するため、設備インフラ、維持管理、老朽化による更新を考慮した具体的な考え方も提案すること。</p> <p>① 構造計画：<br/>空間利用や経済合理性などに有利な構造形式<br/>構造計画の合理化を図る取組方針</p> <p>② 機械設備計画：<br/>合理的かつ経済的な取組方針、工夫</p> <p>③ 電気設備計画：<br/>合理的かつ経済的な取組方針、工夫</p> <p>④ 自由提案</p>  | 全ての提案項目が効果的で実現性が高い | 8.0  | /8.0  |
|            |       |                          |   | 3つの提案項目が効果的で実現性が高い | 6.0  |       |
|            |       |                          |   | 2つの提案項目が効果的で実現性が高い | 4.0  |       |
|            |       |                          |   | 1つの提案項目が効果的で実現性が高い | 2.0  |       |
|            |       |                          |   | 全て上記に該当しない         | 0.0  |       |
|            |       |                          |   | 全て上記に該当しない         | 0.0  |       |

|            |       |                          |   |   |                  |       |
|------------|-------|--------------------------|---|---|------------------|-------|
| 技術提案を求める項目 | 技術提案書 | D) 施工に関する提案              | 施工業務について実施、実現できる効果的な取組を具体的に6つまで提案すること。  | 全ての提案項目が効果的で実現性が高い  | 12.0             | /12.0 |
|            |       |                          | ① 一括発注する実験機器や家具等の什器備品の新設、移設などの付帯工事を円滑に実施するための取組方針   | 5つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 10.0             |       |
|            |       |                          | ② 厳しい工期の中、資材・労働力・技術者確保及び工期厳守についての方法   | 4つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 8.0              |       |
|            |       |                          | ③ 授業、及び教育研究活動環境の保全、に既存校舎内のいながら工事における取組方針と施工計画   | 3つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 6.0              |       |
|            |       |                          | ④ 最新の施工技術の活用などによる、円滑な施工、合理的な施工計画と工期短縮   | 2つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 4.0              |       |
|            |       |                          | ⑤ 施工段階でのコスト増加を抑制できるコストコントロール方法  | 1つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 2.0              |       |
|            |       |                          | ⑥ 自由提案  | 全て上記に該当しない  | 0.0              |       |
|            |       | E) 中百舌鳥キャンパスに関する提案       | 中百舌鳥キャンパスにおける事業推進にあたり、以下の各テーマについて、実現できる取組を提案すること。   | 全ての提案項目が効果的で実現性が高い  | 15.0             | /15.0 |
|            |       |                          | ① 大学新棟の整備に関する提案<br>水圏環境・循環棟、構造材料棟、風洞実験棟の計画にあたって、デザインの方針、設計上の配慮事項、施工上の配慮事項、その他考えられる課題と対処等について具体的に記載すること。<br>特に水圏環境・循環棟の建設にあたってはA7棟の解体工事及びA7棟の既存水槽の流用を予定しており、既存水槽の利用停止期間を6か月間に抑制するための方策を期待する。 | 4つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 12.0             |       |
|            |       |                          | ② 改修棟の整備に関する提案<br>本事業の改修工事は在館者が通常業務を行っている状況での工事が発生する。これらの居ながら改修を行うにあたっての設計段階、施工段階で特に配慮すべき事項と具体的な対応策を提案すること。   | 3つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 9.0              |       |
|            |       |                          | ③ 移転集約事業に関する提案<br>本事業には中百舌鳥キャンパス内及び杉本キャンパスから市大工学部の移転事業が含まれている。設計段階、施工段階で特に配慮すべき事項と具体的な対応策を提案すること。   | 2つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 6.0              |       |
|            |       |                          | ④ 本キャンパス内や周辺環境の現況及び1期事業で実施したワークショップの内容を踏まえた外構整備方針   | 1つの提案項目が効果的で実現性が高い  | 3.0              |       |
|            |       |                          | ⑤ 自由提案  | 全て上記に該当しない  | 0                |       |
|            |       |                          | F) オプション提案  | オプション提案として実現が可能で効果的な取組を具体的に提案すること。  | 全ての提案項目が具体的かつ効果的 |       |
|            |       | ① カーボンニュートラルへの配慮事項(建築)   |   | 4つの提案項目が具体的かつ効果的  | 8.0              |       |
|            |       | ② カーボンニュートラルへの配慮事項(電気設備) |   | 3つの提案項目が具体的かつ効果的  | 6.0              |       |
|            |       | ③ カーボンニュートラルへの配慮事項(機械設備) |   | 2つの提案項目が具体的かつ効果的  | 4.0              |       |
|            |       | ④ カーボンニュートラルへの配慮事項(施工)   |   | 1つの提案項目が具体的かつ効果的  | 2.0              |       |
|            |       | ⑤ SDGsに配慮した取り組み方針        |   | 全て上記に該当しない  | 0                |       |
|            |       |                          |   | 全て上記に該当しない  | 0                |       |
|            |       | G) VE提案                  | 設計や施工において実施、実現できる効果的なVE項目を提案すること。<br>・提案されるVE項目ごとの効果額は100万円以上とし、額の多い順に提案すること。<br>・工期が延伸する提案は認めない。<br>・提案数に上限は定めない。<br>・提案されるVE項目のうち、実現性が高いと認められるもの(以下、「有効VE」という。)のみ点数換算する                   | 評価点=(提案者の有効VE効果額合計)÷(全ての提案者の中で最大有効VE効果額合計)×(配点満点)<br><br>※小数点第四位以下を切り捨てとする。<br>※各事業の有効VE額の合計で審査を行う。 | /5.0             | /5.0  |
|            |       |                          |   |   |                  |       |
|            |       |                          |   |   | /70.0            |       |

「実現性が高い」とは、提案項目の内容が具体的であり、提案項目を実施した場合の増減金額を見込んだ事業費が別紙「公募型プロポーザル募集要項」に記載の想定上限額の内訳金額の範囲内あることを示す。ただし、評価項目F)は、提案項目の内容が具体的かつ効果的であれば、提案項目を実施した場合の増減金額を見込んだ事業費が想定上限額を超えていても評価対象とする。

表4 見積提案率に応じた評価点

| 価格採点 | 評価項目  | 評価点 y          |
|------|---|----------------|
|      | 見積提案率 ≤ 90%<br>見積提案率が 90% 以下の場合は満点として一定とする。   | 10             |
|      | 90% < 見積提案率 ≤ 100% における評価点<br>見積提案率が 100% と 90% を通る直線式により算出される以下の y の値を価格採点とする。<br><br>価格採点式 $y = b \times (1 - x / a) + 1$<br><br>x: 見積提案率 - 90%、y: 価格評価点(提案者評価点)<br><br>a: 10%、b: 9 | 9.1 ~ 1.0      |
|      | 第2期整備事業(大学)、第2期整備事業(高専)、第3期整備事業(大学)の見積金額のうち1つ以上の見積金額が想定上限額の内訳金額を超え、かつ想定上限額の内訳金額を超えている事業の見積金額から法人が採用した有効 VE 項目の合計額を差し引いた金額が想定上限額の内訳金額を超過する場合は1つ以上認められる場合。                              | 失格             |
|      | 想定上限額の内訳金額を超えている事業の見積金額から法人が採用した有効 VE 項目の合計額を差し引いた金額が想定上限額の内訳金額以下となる場合。   | 失格免除<br>減点-1 点 |

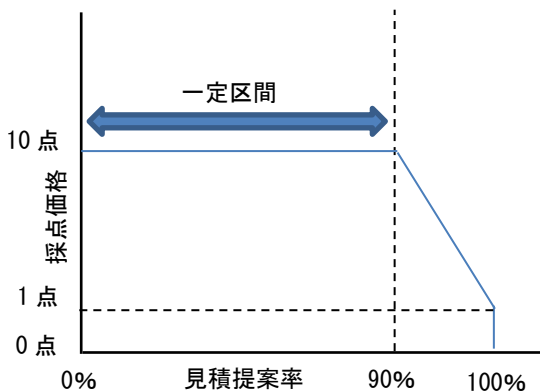
※価格は消費税及び地方消費税額を含む

※見積提案率及び価格採点(評価点)は、小数点以下第2位を切り捨てる。

価格採点のイメージは下記の通り

(例) 見積提案率 97.0% の場合

$$x = 97.0 - 90.0\%, a = 10\%, b = 9 \text{ 点より、} y = \{9 \times (1 - 7.0/10)\} + 1 = 3.7 \text{ 点}$$



| 見積提案率(%)   | 採点             |
|--|----------------|
| 90.0 以下  | 10.0           |
| 91.0   | 9.1            |
| 92.0   | 8.2            |
| 93.0   | 7.3            |
| 94.0   | 6.4            |
| 95.0   | 5.5            |
| 96.0   | 4.6            |
| 97.0   | 3.7            |
| 98.0   | 2.8            |
| 99.0   | 1.9            |
| 100.0  | 1.0            |
| 第2期整備事業(大学)、第2期整備事業(高専)、第3期整備事業(大学)の見積金額のうち1つ以上の見積金額が想定上限額の内訳金額を超え、かつ想定上限額の内訳金額を超えている事業の見積金額から法人が採用した有効 VE 項目の合計額を差し引いた金額が想定上限額の内訳金額を超過する場合は1つ以上認められる場合。 | 失格             |
| 想定上限額の内訳金額を超えている事業の見積金額から法人が採用した有効 VE 項目の合計額を差し引いた金額が想定上限額の内訳金額以下となる場合   | 失格免除<br>減点-1.0 |

※技術提案時に提出した見積金額は、設計業務における事業費の参考金額として取り扱うものとし、事業内容そのものを拘束するものではない。